

## ・コンサートファンタジーってどんなもの？

一般的に「低温花火」「ローカロリー花火」と言われている安全性の高い花火で、弊社で提供しているものは、屋内用のコンサートファンタジー「2m」と「3m」として「スパーク」。屋外専用のタイプSシリーズ「3mから6m」の全7種です。

屋内用と屋外用の主な違いは、屋内用は煙や臭いを抑えている分、火の粉の量が若干抑えてあるのに対し、屋外用は煙や臭いに配慮しなくて良い分、同じ噴射高の商品でも、見た目が派手に作られています。

左から順に2m,3m,スパーク,タイプS 3m  
タイプS 4m,タイプS 5m,タイプS 6m



## ・コンサートファンタジーってどんなシーンに使う？

1. 屋内用であれば、入退場シーンはもちろん、メイン演出時や卓上花火演出と組み合わせる。(噴射高から考えても、スナップ撮影時に収まりが良い)
2. 屋外用であれば、ガーデン入場時やデザートブッフェ等のガーデンにゲストの注目が集まっている時がベストです。(カーテンオープン時だと注目度UP)
3. 階段入退場時など、お2人の動きを「追いながら」順次点火もおススメ!



## ・コンサートファンタジーってどうやって使うの？

専用の点火機材にセットすれば、点火したいタイミングに合わせてワンプッシュ点火できます。また、点火したい場所を選んで1本ずつや、2本ずつ等の個別に点火する事も可能です。

吹き上がる高さに応じて「保安距離」（安全を確保する為の距離）が決まっていますので、人や燃え易い物、危険物等が無い事を確認して設置して下さい。（ガラスや陶器からも離して下さい。あとが残る事があります）保安距離については、下の囲みを参照して下さい。設置手順は次のページにあります。

右の写真は、弊社の花火演出全共通の点火機材です。



### Check It! 保安距離とは？

法令上（火薬類取締法）によって定められている「安全を確保するための距離」を言います。これらは花火（火薬）の種類や一本当たりを使用している火薬の量によって定められています。レトロがプライダル会場様向けに販売しているものは

## 「花火の上がる高さ＝花火を中心とした半径」

が基本となるように花火の性能を選定しているものとなっています。例えばコンサートファンタジー 4m を設置する場合は、半径 4m 以上をゲストの方や新郎新婦様が踏み入らないような場所、またガラスや陶器、燃え易いものから離して設置して頂くという事になります。

尚、この保安距離は最低基準となります。施工時の風向きや状況に応じて臨機応変に距離をとって点火して下さい。また、安全が確保出来ない場合に関しては点火をしない場合がある事を「必ず事前にお客様へアナウンス」しておいて下さい。

どんなに綺麗で優れた演出でも、お客様の安全より優先されるものなどありません！状況に応じて事故を防ぐ事も大切です。

## ・設置の手順

**01.** 最初に花火本体と固定台をつなぎます。固定台の赤の黒の端子に花火の「銅線の部分」のみを、差込みます。この時花火の線の色は関係ありませんので、端子のツメの部分にしっかりと食い込ませるように差込んだ後、銅線を軽く引っ張って下さい。（極性はありません。）

**02.** 次に花火を固定台に固定します。固定の方法は花火によって次の2通りになります。（写真02の通り）コンサートファンタジー 2mと3mは写真02の左、その他タイプS等は右の通り。花火が筒の中に入るタイプと筒に固定するタイプがあります。左のタイプは筒を固定台に差込むだけで固定が可能で、右のタイプは花火本体が筒より大きい場合に花火を筒にナイロンバンドで固定します。

この時「花火の上下（噴出方向）」を間違えないように設置して下さい。花火に↑や上マークが付いています。

**03.04.** 固定台とスイッチボックスをコードを使って連結します。まずはスイッチボックスの電源を確保し、本体の「緑のボタン」を押して電源が正常に与れているかを確認します。ご注文頂いた花火の本数分、固定台を準備し、本体と結線します。

**05.** 最後にスイッチボックス側のコードを抜いて、チェック回路にて、設置が正常に完了しているか、テストします。異常があった場合はグリーンランプが点灯せずにイエローのみのランプが点灯します。正常な場合はイエローとグリーン両方共に点灯します。（チェック回路の詳細は次ページ）

**06.** 06-1～06-4 は間違った設置の代表例です。設置の際に下記の4つは絶対にしないで下さい。



06-1.

接点不良（被覆部を接続する）



06-2.

電池とアダプターを併用する



06-3.

ドロップ（端子手前で通電）



06-4.

花火の向きが逆



## ・当日「点火まで」のフロー

01. まずは発注前に「設置場所と保安距離」をよく考えて、性能と安全確保を事前に確認。
02. 商品到着時にチェック回路を使ってまずは「確認」  
搬送中の破損があった場合は速やかにご連絡を!
03. 使用日までの保管時は高温多湿を避け「濡らさない、乾燥させない、火の気が無い」を合言葉に!
04. 当日の設置は余裕を持って、早めにセット、早めに再度チェック回路で確認する事。
05. 点火前の準備が万全なら、今度は点火する時の安全確保。確保出来ない場合は必ず中止!
06. タイミング待ちになったら選択ボタン（スイッチボックス左側4つ）をONにして待つ。
07. 点火ボタンを押す。目視で全ての花火が確認出来るまで、点火ボタンを離さない。